

- 1 題材 たのしく会話をしよう (小集団 SST)
- 2 対象児童 支援室 (自閉症・情緒障がい学級在籍児童 6名)
- 3 目標

- 楽しく活動することができる。 「心理的な安定 (1)」
- 楽しく会話することについて考えることができる。 「コミュニケーション (5)」
- 話し手の表情を見て言葉のキャッチボールを意識しながら、会話することができる。 「コミュニケーション (5)」
- 指示通りに活動することができる。 「身体の動き (5)」

4 指導観

- 本題材は、特別支援学校学習指導要領 自立活動の内容「心理的な安定 (1)」「コミュニケーション (5)」「身体の動き (5)」の3つに基づいて構成した。自閉症・情緒障がい学級に在籍する児童はコミュニケーションをうまくとることが苦手な児童が多く、交流学級ではトラブルになるのがいやで、友達との会話を避ける児童もいる。本題材は、具体的に「楽しく会話をする」事に焦点を当てて学んでいく。児童は昨年度、特別支援学級 (3学級) 合同の小集団 SST を受け、とても意欲的に参加し「めざす自分像」について考え、具体的に日常生活に取り入れようとしていた。自立活動については個別に特別支援学級担任指導のもと、日常的に行われている。個々に指導されている自立活動の内容について、ステップをあげた少人数の場においても学ぶことは、児童の社会自立に向けて人間関係を学びながら、学校生活を円滑に過ごしていくためのスキルを高めていくことにもつながり、とても重要なものだと考える。

本時はコミュニケーションの内容を中心とするため6人で同じ内容に取り組むが、個々の課題は異なるため、個別の自立活動のねらいを明確にしながらかみ組んでいく。また、この題材については、児童の様子を見ながら、年間を通して指導していくものとする。

- 子どもたちは、明るく賑やかな中にも、上学年としてまじめに先生の指示を聞こうとする姿が顕著に見られ、成長が感じられる。同じメンバーで2年目ということもあり、学年は違っても仲良く過ごしている。たまに、お互いの言葉の理解にズレが生じ、小さなトラブルはあるが、話を聞いて、事実を整理していくと誤解だったことが分かり、すぐに仲直りをし、気持ちの切り替えもスムーズにできる。

しかし、日頃の会話の中で、自分の話したいことを一方的に話したり、聞かれたこととはかけ離れた返事をしたりしてしまい、言葉のキャッチボールができない場面が見られる。語彙が少ないということもあるが、言葉の意味を正しく理解していないのに、自分の都合のいいように置き換えて判断していることもあるように感じる。

また、ボディイメージがなかなかつかめない子どももおり、モデルの動作のまねをしたり、両手でボールをしっかりつかんで投げたりするなど自分の身体を自分の思い通りに動かすことが苦手である。

(自立活動の個別の実態把握及び指導目標、具体的な指導内容については別紙資料参照。)

- そこで、本題材では、児童が安心して楽しく会話することを主に、個々の課題を意識し、少しでも改善しようとする意識を育てたい。

まず、児童に1時間の見通しをもたせたるため、早い段階で本時のめあて、スケジュールを提示する。そして、問題解決型のめあてを児童に投げかけ、めあてに対する見通しをもたせ、解決

させることで本時の目標を達成させていく。めあてに対する見通しがたちにくいときには、授業者と特別支援学級担任で普段の会話を再現してみせることで考えさせたい。

次に、会話に結びつくような活動を取り入れ、友達とコミュニケーションをとることの楽しませ、本時の課題解決につなげたい。

活動内容については個々の困難さを考慮した活動になっており、「できなくてもかまわない。その時には『わかりません、できません。』と言っていい。」ことを事前に伝え、苦手なことでもやってみる意欲をもたせたい。このスキルは交流学級での学習中でも生かせるものだと考える。

数人単位の小集団活動で学んだスキルを、少しでも交流学級の中でも生かしていけるようにすることは、本校の教育目標である「夢や目標に向かって努力する児童の育成」につながっていくと考える。

5 授業改善のための4つの取組（チ）

- ① 「導入」を5分以内に済ませ、「振り返り」や「習熟」の時間を5分以上確保する。
- ② 「めあて」「指導内容」「まとめ」を焦点化し、整合性をとる。
- ③ 設定した時間内に、子供が思考活動を行い、考えをまとめられるような手立てをとる。
- ④ 発問や指示は、子供に伝わるように端的に表現する。

6 特別支援教育の視点を生かした授業における支援（支）

- ① 禁止語ではなく、できるだけ望ましい言動を勧めるような言葉掛けをする。
- ② 見通しをもちやすくするために視覚的なスケジュール掲示や指示を用いる。
- ③ 体を動かす、動かしてもいい時間を設ける。

7 本時の目標

- 楽しく活動できる。
- 言葉のキャッチボールを意識した会話ができる。
- 「楽しく会話ができる自分」をめざす意欲をもつことができる。

8 学習指導過程

段階 (時間)	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価 【評価方法】	資料 ・ 準備
つ か む (7分)	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりした声であいさつをさせる。 ・ 本時の題材名を示し、「会話とは?」「楽しいとは?」と示しながら、本時のめあてにつなげる。 		めあて
	2 題材名を知る。 楽しい会話			
3 本時のめあてを知る。 楽しく会話をするためにはどうしたらいいのだろう。				
4 課題解決の見通しをもつ。 ○ おもしろいことを言う。 ○ いやなことを言わない。 ○ 相手を見て話す ○ 悪口を言わない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの普段の会話を振り返らせながら、どんな状態を「楽しい会話」と考えているのかを引き出す。 <p><u>(支)見通しをもちやすくするために、授業者と担任とで、</u></p>			

	<p>5 1時間の流れをつかむ。</p>	<p><u>普段の会話の様子を再現する。(②)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールを示し、1時間の流れの見通しをもたせる。 	<p>スケジュールボード</p>
<p>活動する (30分)</p>	<p>6 体を動かす活動をする。 (20分)</p> <p>① 口の体操</p> <p>② 体操</p> <p>③ 一本橋</p> <p>④ ボール渡し</p> <p>7 思考する。(5分)</p> <p>○ 「めあて」を振り返り、「楽しく会話する」ためにはどうしたらいいかを具体的に考える。</p> <p>8 発表する (5分)。</p>	<p>(支)体を動かす活動を行うことで緊張をほぐすと共に、「楽しい」という気持ちを実感させる。(③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あ・い・う・べー体操」を行い、口の開き方、舌の動かし方を意識させ相手に聞き取りやすい発音の仕方の基礎を身に付けさせる。 ・ モデルの動きをしっかりと見てまねすることを意識させ、間違えてもいいことを伝えながら、身体を動かすことを促していく。 ・ 線の上、板の上を指示通りに動く活動を行うことで、教師や友達とのコミュニケーションをとらせる。 ・ 友達とのボールの受け渡し方を考えることで、自分の意思や気持ちを相手に正しく伝えることの大切さを味わわせる。 ・ 無言指示を理解させる。 ・ 体を動かす活動の中で、楽しいと感じた会話の場面を授業者が話し、課題解決のイメージをもたせる。 <p>(チ)自分の考えを紙に書いた <u>い児童にはワークシートも使えることを知らせる。</u> <u>(③)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表しにくい様子が見られるときは、「楽しく会話するために自分はどういうことに気をつけたいか。」という視点で発表させる。 	<p>楽しく会話するためにどうしたらいいか、考えることができたか。 (観察・発表)</p> <p>板</p> <p>ボールバケツ</p> <p>ワークシート</p>

<p>まとめ める (5分)</p>	<p>9 まとめをする。 ○ 相手の顔（表情）を見る。 ○ （伝えたいときは）相手の名前を言ってから話す。 ○ 自分ばかり話さない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>楽しく会話するためには、相手の表情を見ながら、お互いの話を聞き合うことが大切。</p> </div>		<p>楽しく会話するためにどうしたらいいか、知ることができたか。 (観察)</p>
<p>振り返る (3分)</p>	<p>10 本時の振り返りをする。 ○ 授業の感想を発表する。</p> <p>11 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に授業の感想を言わせ、「楽しかった。次も楽しくやりたい。」という意欲をもたせる。 	

7 板書計画

◎ 楽しい会話

楽しく会話をするためにはどうしたらいいのだろう。

<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろいことを言う。 ・ いやがることを言わない。 ・ 相手を見て話す。 ・ 悪口を言わない。 	<p>今日の活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ①口の体操 ②体操 ③一本橋 ④ボール渡し </div>	<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>楽しく会話するためには、相手の表情を見ながらお互いの話を聞き合うことが大切。</p> </div>
---	---	--